

令和8年度 国語科 第3学年 年間指導計画

学期	月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	4月	世界はうつくしいと	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	表現の工夫・作者の意図・特徴的な表現などを理解する。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
1 学 期	4月	1. 深まる学びへ 握手	時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。	文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。	粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。	
		学びて時に之を習ふ	教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。	孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。	人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。	
	[聞く] 意見を聞き、適切さを判断する	情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。	目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		
	5月	漢字1 熟語の読み方、漢字に親しもう	漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。			学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		季節のしおり 春	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	春の気象にまつわる言葉や、春の情景を詠んだ俳句や和歌、漢詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	6月	2. 視野を広げて 作られた「物語」を超えて	具体と抽象の関係を理解している。	原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、それらが文章の中で無理なく結び付いているかを確かめながら、自分の考えをまとめている。	進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、報と情報の関係について深め理解を生かして、文章にまとめようとしている。	
		論理の展開を意識して書こう グラフを基に小論文を書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	6月	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける	情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切か確認して、必要な情報を集めている。	話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいる。	相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。	
		漢字に親しもう2 言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。	
	7月	文法への扉1 「走って」いるのは誰?	既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解している。		助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。	
		言葉の釣り糸を垂らす	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	2 学 期	7月	3. 言葉とともに 俳句の可能性	俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。	語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。	進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
			言葉2 和語・漢語・外来語	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。
		9月	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。	文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。
情報整理のレッスン 情報の信頼性			情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
10月		読書を楽しむ	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
		「私の一冊」を探しにいこう	本のさまざまな探し方について理解し、興味をもてそうな本を見つけている。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
10月		季節のしおり 夏	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(
		4. 状況の中で 挨拶――原爆の写真によせて	比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。	詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。	詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。	
		故郷	文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。	自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。	粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	
		論理の展開を整える	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語	慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。		積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。		
10月	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。	話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		
	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
	5. 自らの考えを 複数の意見を読んで、考えよう ――正解が一つに決まらない課題と向き合う	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。	文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		

11月	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く	具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。	自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。	粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。	
	漢字に親しもう3	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ 文法2 文法のまとめ	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応について理解することができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	聴きひたる 初恋	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	季節のしおり 秋	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	6. いにしへの心を受け継ぐ 和歌の世界 万葉・古今・新古今 「おくのほそ道」	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。	和歌の表現のしかたについて評価することができる。文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	つながる古典 古典名作選	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。	文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	7. 価値を生み出す それでも、言葉を	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	書写 書写を生かそう	二年生までに学習した書き方を確認して、字形を整えて書いている。	書写の学習で身につけた知識や技能を、学校や日常の中に生かして文字を書いている。	日本の伝統文化に触れ、学習課題に沿って漢字や仮名の筆使いに注意して書こうとしている。	
	話し合いを効果的に進めよう	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
12月	季節のしおり 冬	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	文法への扉2 「ない」の違いがわからない？	「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。		単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。	
	本は世界への扉	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。	文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
3 学期	1月	8. 未来へ向かって 温かいスープ	文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。	自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
		わたしを束ねないで	言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。	詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。	詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
	2月	律儀な桜	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。	文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	
		3月	三年間の歩みを振り返ろう	話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。	場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。
		漢字に親しもう5	音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	評価方法	定期考査、小テスト、 長期休業明けテスト	定期考査、小テスト、作文 長期休業明けテスト、創作物	ノート、プリント ICTを使った創作活動	